

いちようだより

令和2年1月10日
天童中部小学校
校長 大谷教司

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。

11月にご回答いただいた学校評価アンケートには、たくさんの保護者の皆様からご協力いただき、ありがとうございました。結果を集計し考察いたしましたので、お知らせいたします。

(回収率 98%)

I 児童アンケートの結果から

| No. | 項目 | あてはまる | どちらかといえばあてはまる | どちらかといえばあてはまらない | あてはまらない | 天童中部小学校 児童アンケート 全体 集計結果 |
|-----|--------------------|-------|---------------|-----------------|---------|-------------------------|
| 1 | 学校の生活は毎日楽しい。 | 53% | 32% | 10% | 5% | |
| 2 | 授業で勉強していることがよくわかる。 | 43% | 44% | 10% | 3% | |
| 3 | みんなに進んであいさつしている。 | 55% | 31% | 10% | 4% | |
| 4 | 児童会目標を意識して活動している。 | 42% | 38% | 14% | 6% | |

1 学校生活について

◇楽しい学校生活を送れるように、一人一人に応じたきめ細かい支援を

「学校が毎日楽しい」【項目1】については、「あてはまる」が53%「どちらかといえばあてはまる」が32%で、合わせると、85%になります。多くの児童が学校で楽しく生活していると答えていますが、15%の児童はあまり楽しくないと感じていることを重要視しなければなりません。日常生活や面談等を通して、一人一人の思いをしっかり受け止めて、居心地のよい学級づくりを推進すると共に、個に応じたきめ細やかな支援に力を入れていきます。

◇「進んであいさつ」の習慣づくりを粘り強く

本校では、「あいさつ」を重点の一つに掲げて取り組んでいます。「みんなに進んであいさつしている」【項目3】の結果は、「あてはまる」が55%、「どちらかといえばあてはまる」が31%で、86%の児童が「進んであいさつをしている」と答えています。地域の方々からは以前よりはあいさつがよくなってきているという声が寄せられています。しかし、自分ではあいさつをしているつもりでも、伝わらないあいさつも多く見られます。児童が社会に出たときにきちんとあいさつができる人間を育てるために、今後も継続して力を入れていきます。

◇児童会目標「自分からチャレンジして笑顔になろう」

「児童会目標を意識して活動している」【項目4】については、「あてはまる・どちらかといえばあてはまる」と答えた児童が80%でした。児童会活動では、昨年度の課題から同じことを繰り返すのではなく、自分達なりの方法を考えてチャレンジする姿が見られました。多くの児童が、学校生活の様々な場面で、上記の目標を意識して取り組んでいます。今後、「あてはまる」という児童がさらに増えるよう児童会で取り組みを考えていきます。

2 学習について

◇毎日の授業に力を入れて、さらに子供たちの学力向上を

【項目2】「授業で勉強していることがよくわかる」については、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」を合わせると、87%になります。今年度、天童市教育委員会の委嘱研究を受け、10月16日に授業を公開し、市内外の多くの先生方から、中部小の児童の主体的に深く学ぶ姿に賞賛の声をいただきました。「学校は児童の学力をのばすところ」という共通認識のもと、今後も、つきたい力を明確にし、意図的・計画的な授業づくりに努め「かしこい子」の育成に取り組んでいきます。

II. 保護者アンケートの結果から

あてはまる
 ややあてはまる
 あまりあてはまらない
 あてはまらない

◇子供達が毎日安心して登校 元気に生活できるよう支援を

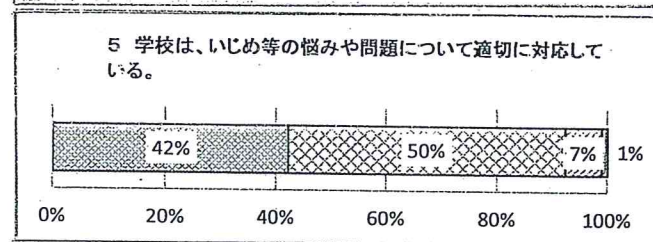
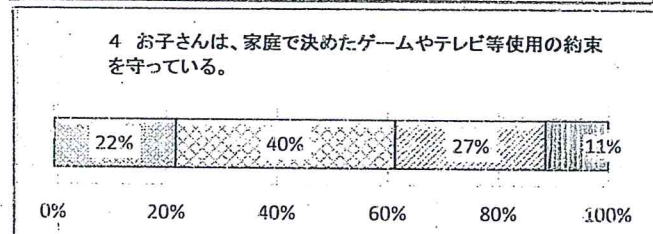
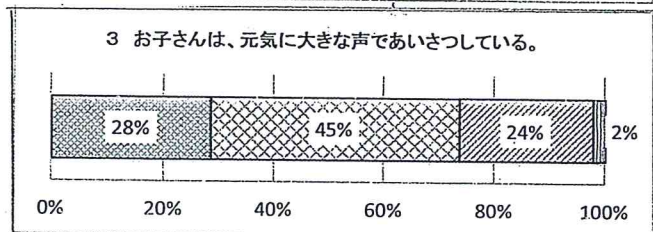
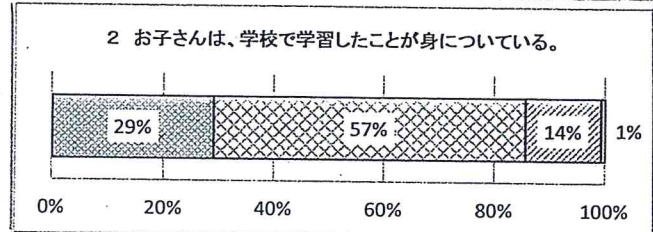
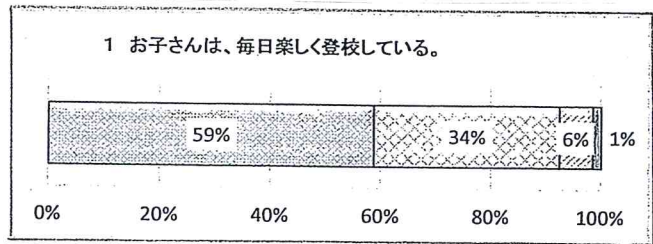
【項目1、5】93%の保護者の方から、お子さんが「毎日楽しく登校している」とご回答いただきました。また、「いじめ等に適切に対応している」についても、92%の方から「対応している」と捉えていただいているようです。普段から一人一人に向き合って子供達のよさを認めたり、悩み等に誠意を持って対応したりしていることを評価していただいたものと受け止めてまいります。今後も、子供の安心安全を第一に考えた学校運営に取り組むとともに、個に応じた支援や一人一人が生きて学級づくりを推進していくことで、子供達が毎日安心して登校し、元気に楽しく生活できるように支援していきたいと思っております。

◇一人一人に確かな学力を

【項目2】86%の保護者の方から「学校で学んだことが身についている」とご回答いただきました。しかし、「ややあてはまる」が57%という結果でした。この数字は、保護者の方にとっては、「さらに学力を伸ばしてほしい」という願いと捉える必要があります。日々の授業での個への支援を含めた授業改善を通して、さらに一人一人に確かな学力が身につくよう力を入れて指導していきます。

◇家庭・地域でも元気なあいさつを

【項目3】あいさつの推進については、学校だけでなく、保護者・地域の皆様との連携が不可欠です。地域やご家庭でも子供達と積極的にあいさつを交わしていただき、あいさつの輪が広がっていきますよう、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



※紙面の都合上、全体に関わるもののみ掲載しています。

【保護者の皆さんが、お子さんが伸びたと感じられる点】

「相手のことやまわりのことを考えて生活するようになってきた(360人)」「自分から学習に取り組むようになってきた(329人)」「健康や安全に自分で気をつけるようになってきた(295人)」「多少の困難があっても途中であきらめない粘り強さが出てきた(269人)」「その他(26名)」

【保護者の皆さんが、特に意識して努めた点】

「お子さんのがんばりをできるだけ認める(463人)」「お子さんの困り感を、お子さん自身で乗り越えたり、解決することができるよう見守ったり励ましたりする(412人)」「お子さんと一緒に食事をとるようにしたり、時間を作って話を聞いたりすること(412人)」「生活リズムづくりやメディアコントロールなどへ取り組み、健康な生活習慣づくり(291人)」「その他(18人)」

【学校と保護者で協力していきたい点】

「お子さんのがんばりを学校と一緒に褒めて伸ばしたい」「生活習慣づくり、特にメディアとの付き合い方について考えていきたい」「自己解決能力を伸ばしたい」というご意見が多く出されました。

【項目4】「家族で決めたメディア使用の約束をあまり守っていない」と38%の保護者の皆さんからご回答がありました。学校では6月と11月の2回「元気っ子週間」として、メディアとのつきあい方(1日2時間まで)についてご家庭で考える取り組みを行いました。また、PTA安全交流部が中心となり、スマホ・携帯安全教室(PTA研修会)を開催しました。さらに、PTA生活部では「家族でチャレンジ!親子で過ごそう・子供と話そう(10月1日~14日)」を企画し、親子でメディアコントロールの意識を高める取り組みがなされました。今後も親子でメディアとのつきあい方について継続的に考えていきましょう。